

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		2025年 2月 28日		
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
						1
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	基準人数以上の職員を配置しており、質の高い療育の提供を心掛けています。	必要に応じて、他教室と連携を取り取援体制を設けています。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	席の配置は職員で話し合いを決定しています。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	清掃は毎日実施し、空気清浄機の設置を行い清潔空間を保つようになっています。また、季節に合わせた壁面装飾等を行い、心地よく過ごせる空間づくりに努めています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	個別療育やグループを分けて行う活動の際は、パーテーションを使い区切って過ごしています。	引き続き必要に応じて、待合室や相談室を便するよう環境作りをしていきたいと思います。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6	0	日々の朝礼・終礼を通して個々のトレーニングの報告を行っています。また、定期的に個別支援会議を実施し、面談後は職員間で内容の共有を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	2024年12月に保護者に向けてアンケートを配布し、集計結果を職員間で共有しました。その結果を元に、適宜業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々の終礼や会議を通して職員の意見を出し話し合いを行い、業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	第三者外部評価は行っていませんが、埼玉県による実地指導の結果を評価結果を業務改善に繋げています。	※2名該当なしと回答
	10	職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	本部の企画する研修の他、事業所内で毎月勉強会を行っています。また、発達障害専門研修をはじめとした外部で開催される研修にも、積極的に参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムを作成、公表されているか。	6	0	個別支援計画や日々の日誌や面談後の話し合いを通して、適切な支援プログラムの作成と公表に努めています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	子ども一人ひとりの発達状況や保護者の意向を適切に把握することで、個々に合わせた計画の作成に努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児童発達支援計画を作成する前に、職員全体の共通理解の下で子ども最善の利益を考慮し検討をした会議を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	子どもたちのより良い支援に繋がるように、職員間で連携を取りトレーニングを行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	必要に応じて、発達段階について適宜確認をしています。	引き続き、今以上のアセスメントツールの活用を努めていきたいと思います。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	保護者へのアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を職員全員で客観的に分析しています。また、子どもが家庭や地域社会における生活を通じて、様々な体験を積み重ねられるように考慮しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	当日の個別担当者や集団担当者がプログラムの考案を行い、それを元にチームで検討を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	子どもの日々の様子を観察したり保護者から家庭での様子を聞き取り、その子が楽しみながら取り組めるように毎回考案し立案・実践しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	子ども一人ひとりの発達状況や保護者の意向などを踏まえ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ作成・支援に努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼時に職員間での共有を行うと同時に、集団活動は支援の内容や役割分担について丁寧に確認を行っています。	
21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼時にトレーニングの振り返りや保護者からの意向等を共有し、次回への支援に繋がるように話し合いを重ねています。		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	児童発達支援計画に基づきその日の状況を記録し、支援の検証・改善に繋げています。		
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを必要と判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的なモニタリングに併せ、上記の支援記録の評価を根拠に、全指導員・児童発達支援管理責任者で話し合いを重ね児童発達支援計画の見直しを必要と判断をしています。		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	4つの基本活動の内容を複数組み合わせながら、一人ひとりに合った支援を行っています。	※1名該当なしと回答	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がなされている等、自己決定を促す力や育てるための支援を行っているか。	6	0	活動内容の中に、個人で考え意見を述べたり選択・決定をする機会を設けたりして支援を行っています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6	0	担当者会議には、より関わり深い職員が参加するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて、若しくは保護者の要請に応じて各関係機関との連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	通知表や年間予定表の共有等を通して、情報共有や相互理解を図っています。	※1名該当なしと回答
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有や相互理解に努めているか。	5	0	必要に応じて園や事業所との情報共有や相互理解を図っています。	※1名該当なしと回答
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	5	0	短絡の共有等を通して、情報共有や相互理解を図っています。	※1名該当なしと回答
保護者への説明等	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	必要に応じて、相談や訪問での情報共有等を行っています。	今後も研修への積極的な参加を含め、各専門機関との連携強化に努めていく方針です。 ※1名該当なしと回答
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	他教室との交流をイベントとして行っています。	現時点では設けておりませんが、今後必要に応じて検討してきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	定期的に協議会への参加をしています。	引き続き、今後積極的に協議会への参加をしていきたいと思います。 ※2名該当なしと回答
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	必要に応じてモニタリング、電話連絡やトレーニング時間外での相談も行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	県より家族向けの講習会があった場合は、待合室に掲示しています。	引き続き、家族支援に対する理解をやっぴ深められる研修に参加していき、専門性を高めていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に、お子様や保護者の方が放課後等デイサービスを適切に円滑に利用できるよう、丁寧に説明をするよう努めています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の同意を確認する機会を設けているか。	6	0	職員でトレーニングの様子を話し合った後、保護者との面談を通して意向を確認しながら個別支援計画の作成に努めています。	
	38	放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	保護者との面談時に、個別支援計画を提示しながら意向を得ると同時に、分かりやすい説明に努めています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談が必要な助言と支援を行っているか。	6	0	必要に応じて適宜、相談・支援を行っています。また、トレーニング時間以外に面談枠を設けて行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	現時点では父母の会や保護者会は実施していません。	今後、保護者からの要望があれば必要に応じて開催を検討する予定です。
非常時等の対応	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	迅速に相談に応じ、解決に向けて努めています。また、職員間で内容の共有を行い、必要に応じて改善をしています。	
	42	定期的な連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に広く発信しているか。	6	0	イベント等は別途手紙で告知しています。また、ハッピーテラス通信やブログ等を通して日々の活動の様子を発信しています。	
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人ファイルは鍵付きのキャビネットに保管し、パソコンにパスワードをかける等の対策をとっています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	保護者との面談を重ね、必要に応じて個々に合わせた配慮に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を行っているか。	4	2	イベントの際に、地域の方と関わる機会を設けています。	今後、地域の方と関わるイベントを増やしていきたいよう考慮していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防火マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを作成し、教室内に掲示し周知に努めています。また、年に2回消防署と連携して火事や地震などの災害を想定した避難訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	業務継続計画の策定を行い、非常災害を想定した訓練や備蓄の確認を定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	6	0	契約後は迅速な対応ができるように保護者からの聞き取りを行っています。予防接種については、短時間利用の対応は必須としません。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	6	0	利用契約時に確認を行い、アレルギーを把握しています。調理イベントの前に、保護者に改めて材料の確認を行っています。	今後もアレルギーがある子どもに対して、保護者に確認を取りながら進めていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画の作成と共に、身の回りの玩具や室内環境が安全に配慮されているかを定期的に確認し、支援に備えています。	
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	作成した安全計画を元に、保護者との面談を通して周知に努めています。		
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6	0	ヒヤリハットがある場合は、終礼時に報告すると共に報告書に詳細を記載して閲覧し、改善に努めています。		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか。	6	0	虐待防止研修に参加し、全職員へ共有を回りチェックリストを実施する等努めています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束が必要な場面について、組織的に話し合い決定しています。また、契約時に保護者に同意を得ると同時に放課後等デイサービス計画に記載しています。		